

2024-2025 年度 河北ロータリークラブ会長挨拶

クラブ目標

「 前 進 」



河北ロータリークラブ
会長 山口 栄治

令和6年は、能登半島地震という暗い出来事から始まりました。あらためて自然の恐ろしさを感じました。それと同時に人々の温かさも感じました。

誰もがのんびりと楽しく過ごしたいお正月に、お休み返上で全国各地から自衛隊、消防、警察が現地入りし、人命救助にあたりました。また、現地までの経路を確保するために多くの建設業者が道路の復旧作業にあたりました。

そして、被災者支援のために、国内・国外のロータリアンから多額の寄付も集まりました。何かあった時に困っている人のために、すぐに行動できることがロータリーの良さだと感じました。

さて我々河北ロータリークラブは会員20人弱の小さなクラブで会員の増強が急務となっています。その反面、少人数ならではの良さもあり、ロータリーの標語「DEI」誰もが、笑顔で、居心地が良いがぴったりのクラブでもあります。このアットホームな面をアピールし会員増強に繋がりたいと考えております。

さて、今年度の目標は2610地区の目標にもなっている能登半島地震の復興です。河北ロータリークラブの所在地かほく市も多くの人が被災し、復興には長い年月がかかりそうですが、会員を増加させ ひとつでも多くの奉仕活動を行うことにより 微力ながら継続して支援活動に協力していく所存です。